

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2101210	心理学 Psychology	竹重 幸	基礎	2	選択	1年 前期
科目の概要						
心理学は人間が感じ、考え、行動するメカニズムを科学的に解明しようとする学問である。しかし、心理学を学問的に捉えるというよりも、大学生活で「自分を知る」ということの一助にし、社会生活や家庭生活に実践してほしいと考える。そのために、本講義を通して、人間のこころや行動を心理学的にとらえるための基礎を学んでほしい。本講義ではなるべき理論よりも日常に身近な心理学に重点を置くので、常に問題意識をもつてのぞんでほしいと思う。						
学修内容			到達目標			
① 心理学とは何か、心理学の基礎的事項を学ぶ。			① 人間に関わるさまざまな問題や日常生活の行動を心理学的な視点から判断・検討できる。			
② 日常生活の行動の心理学的な見かたを学ぶ。			② 心理学とは何かということをイメージすることができる			
			③ 心理学の基礎的事項について説明することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	技術(学習)の修得のために自ら練習をすることができる。				
	働きかけ力	助けてほしいときに素直に他者に求めることができる。および助けることができる。				
	実行力	期限内に最後までやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつ習慣をもつことができる。				
	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。				
	創造力	オリジナリティな思考(発想)をもち、多角的なものの見かたができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	人の意見を聞くことができる。				
	柔軟性	多様性を理解できること。つまり、異なる意見や価値観に対応することができる。				
	状況把握力	自己の課題遂行のみではなく、他者性になることができ、協同作業を円滑に進めることができる。				
	規律性	集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	ストレスに対する抵抗するすべを自分なりに発見することができる。				
テキスト及び参考文献						
『よくわかる臨床心理学』 下山晴彦 ミネルヴァ書房 2009年						
『自己理解ワークブック』 福島脩美 金子書房 2005年						
他科目との関連、資格との関連						
特になし						
学修上の助言			受講生とのルール			
予習・振り返りを忘れない。(確認する) 1講義につきひとつは、問題意識と修得したことを持つて帰ることを意識してください。			欠席をしないこと。受講すると決めるならば最後まで参加することが大切です。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	心理学の基礎的事項について説明することができるかを評価する。 日常生活での行動を自分事としてとらえることができるかを評価する。
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	30	①	✓	グループワークへの取り組みを評価する。 出席をすること。 6回以上の欠席は0判定となる。 (主体性)技術(学習)の修得のために自ら練習をすることができる。 (実行力)期限内に最後までやり遂げることができる。 (課題発見力)ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつ習慣をもつことができる。 (創造力)オリジナリティな思考(発想)をもち多角的なものを見かたができる。 (発信力)聞き手にわかりやすく伝えることができる。 (傾聴力)人の意見を聞くことができる。 (規律性)集団のルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他	30	①	✓	予習課題および振り返り課題を評価する。
		②	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及びA(優)の基準	到達レベル B(良)及びC(可)の基準
(S) 100点満点中90点以上の評価 (A) 人間の行動を心理学の知見に基づいて説明することができる。日常生活での行動を自分事としてとらえることができる。	(B) 人間の行動を心理学の知見に基づいて説明することができる。 (C) 出席と課題提出、期末の課題提出の合格基準を達成していること

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	心理学とは何か 心理学は科学なのか？	講義 グループワーク	心理学が何をどのように明らかにしようとしているかを理解できる。	授業内容を振り返る	180	課題発見力 発信力 傾聴力
2週 /	臨床心理学①	講義 グループワーク	人のこころに寄り添うことを理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
3週 /	性格心理学	講義 グループワーク	性格とは何か、性格をどのように考えるかを理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
4週 /	発達心理学	講義 グループワーク	人間の成長・発達過程について理解できる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
5週 /	社会心理学	講義 グループワーク	他者とのインタラクション・グループダイナミクスについて理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
6週 /	知覚心理学	講義 グループワーク	見る・聞く・匂うといった感覚の仕組みを理解できる	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
7週 /	学習心理学	講義 グループワーク	人間の行動の変容に影響する学習現象について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
8週 /	認知心理学	講義 グループワーク	思考する、記憶する、創造するといった行動のしくみを理解することができる	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	教育心理学	講義 グループワーク	学校教育における諸問題に心理学はどうかを理解する。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
10週 /	生態心理学 生物心理学	講義 グループワーク	環境—身体—脳のインタラクションが行動であるという見かたを理解する。行動の生理学的基盤について理解できる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
11週 /	臨床心理学②	講義 グループワーク	人間のこころに表れるさまざまな症状について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
12週 /	心理学の原点	講義 グループワーク	心理学の歴史的な流れを理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
13週 /	社会行動①	講義 グループワーク	<対人行動> 恋愛心理学について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
14週 /	社会行動②	講義 グループワーク	<対人行動> 犯罪心理学について理解することができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	心理学を活かして未来を生きる	講義 グループワーク	社会人になったときに心理学をどう活かせるかを考えることができる。	授業内容の予習をする。授業内容を振り返る。	180	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力